

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（92）」

2. 日時：令和2年11月30日（月）16時00分～16時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：小山田安全規制調整官、三井上席審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

電源開発株式会社：原子力技術部 部長 他9名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

（1）電源開発株式会社（以下、「電源開発」という。）から、平成26年12月16日に申請のあった大間原子力発電所の設置変更許可申請のうち、地下構造の評価に関するコメント回答について説明があった。

（2）原子力規制庁から、説明内容に対し、以下の点について確認した。

①（P.2-132）二次元FEMモデルにおける物性値の見直しについて

②（P.2-204）三次元差分法の位置付けについて

（3）電源開発株式会社から、確認事項に対し、以下の回答があった。

①解放基盤表面以浅の浅部モデルと深部モデルを接続する際に、調査密度の相違等から、同じ地層であっても速度構造や分布形状が異なる箇所も見られるので、二次元FEMモデルを作成するに当たり、両者の境界部を滑らかに接続するように、物性値を補正している。

②指摘事項S-11への回答として、深部の二次元不整形FEMモデルに浅部

の構造を加えた二次元 FEM モデルの方が、実際の地下構造を精度良くモデル化できること、三次元差分法モデルでは中心周期 1.0 秒のリッカー波を入力した場合の検討しかできないことから、三次元差分法による解析は、二次元 FEM モデルによる検討との整合性を確認するという位置付けである。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)
- ・大間原子力発電所 地下構造の評価について(コメント回答 その2)
- ・大間原子力発電所 地下構造の評価について(コメント回答 その2)(補足説明資料)